



## 事務局長報告

参議院議員

水落 敏栄

平成 25 年 11 月に発足した当議員連盟は、平成 27 年 3 月の第 6 回総会において、具体的な取り組みをまとめた報告内容を承認し、「統合医療の推進のために」の報告書を発行しました。

平成 27 年度は、以下の日程で会合を行いました。

1) 平成 27 年 6 月 9 日 第一回政策小委員会

統合医療に関係する各省庁の担当者から、上記の「統合医療の推進のために」の内容に対するその後の取り組み状況をご報告頂き、質疑応答を行った。

2) 平成 27 年 7 月 28 日 第 7 回総会

第一回政策小委員会で報告のあった各省庁の取り組みをもとに、平成 28 年度予算案に対する要望をまとめ、各省庁の担当者到手渡した。その後質疑応答を行った。

3) 平成 27 年 12 月 1 日 第 8 回総会

第 7 回総会で各省庁に手渡した平成 28 年度予算案への要望について、各省庁の担当者からご回答頂き、その後質疑応答を行った。

4) 平成 28 年 3 月 25 日 第 9 回総会

以下の 4 点についての報告があり、それに関する質疑応答を行った。

- 平成 28 年度予算案への要望に対する取り組みについて、各省庁の担当者から再度ご回答頂いた。
- 鳥取県南部町の坂本昭文町長から、南部町が 20 年以上前から取り組んできた統合医療に関わる施策をご報告いただいた。
- 「統合医療推進議員連盟の基本的考え方(案)」について審議し、了承を得た。
- 当議員連盟が協力し、日本統合医療学会が平成 27 年に行った「統合医療の国際予備調査」について、結果の概要が報告された。

鴨下一郎会長のご挨拶にもありますように、このような会合を重ねる中で統

合医療が着実に前進し、その結果、2016年2月に厚生労働省医政局の中に統合医療企画調整室が設置されました。当議員連盟の先生方のご協力に、心から感謝を申し上げます。

当議員連盟は、統合医療に関係する各省庁とのやり取りを継続するとともに、統合医療の専門家による講演を行ってまいりました。そして第9回総会では、自治体による統合医療への取り組みのモデルとして、鳥取県南部町の坂本昭文町長に「地域包括ケアと統合医療—一億総活躍と地方創生」についてご報告を頂きました。坂本町長のお話の中にあった、「20年以上前から町が取り組んできた内容は、現在厚生労働省が進める地域包括ケアが目ざす方向性であるとともに、統合医療の理念とも一致していた」とのお言葉は、まさに統合医療の核心をついたものだと考えます。統合医療は、さらにWHOの「健康の社会的決定要因」や、国連の「持続可能な開発目標」に関する考え方とも軌を一にするものです。

第9回総会の質疑応答の中で先生方が述べられたように、今後はこうした取り組みを日本全国に広げ、心身ともに健康で幸せな健康長寿社会を実現するために、どのような政策を行うかが重要です。

「南部町の取り組みは、時間と住民の意識改革がないとできない。トップリーダーが一貫して強い思いを持ち続け、住民の意識を改革し、みんなを巻き込んでいかれた。厚労省や総務省なども一緒になって、地域ごとに一つずつ丁寧に積み重ねてこられたこの過程を、我々は学習すべきだ。統合医療では、たとえば町全体として見た時に、介護の保険料が低いとかが本当のエビデンスだ。統合医療を推進する上で、こういった地域の新たな評価システムを考えることも重要だ。(野田毅先生)」

「健康長寿のまちづくりを進め、将来はそれをつないで日本全体を健康長寿の国にするためには、当議員連盟に所属する私たち自身が、自分の地元の市長や議員や関係の皆さんに統合医療の意義を正しくご理解いただき、それをどのように具体化するかという流れを一緒に作っていくことが必要だ(保岡興治先生)」

今後とも、統合医療推進に向けた当議員連盟の活動にご協力を賜りますように、何とぞよろしくお願い申し上げます。